

あつま 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①イングリッシュキャンプ開催
- ②フットボールドリームカップ開催／厚真
高校陸上部インターハイ出場／スピード
スケート広域合宿合同練習会
- ③厚真町文化祭／詩吟・吟舞同好会／イナウ
製作体験・カムイノミ・イチャルパ
- ④アツマナビ開催／7月定例教育委員会／
世界の昆虫展開催
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動紹介

「大切なのは自分の思いを相手に伝えること」



令和5年度厚真町イングリッシュキャンプ開催

教育委員会では、昨年度から中高生を対象に「外国に行ったとき、様々な手段で外国人とのコミュニケーションをとり、自分の思いを伝える楽しさや難しさを感じ、外国語を意欲的に学ぶきっかけにする」ということを趣旨としたイングリッシュキャンプを開催しています。今年度は、中高生約40人の申し込みがあったため4回に分けて開催することとなり、第1回目として8月10日（木）・11日（金・祝）に、厚真町総合福祉センターで実施しました。

このイングリッシュキャンプでは、パスポート制作から始まり、入国審査、両替体験をはじめ、レストランでの注文体験や病院での診察体験等、外国に行かなければ体験できない状況を意図的に用意し、「日本語が通じない」という環境の中で、参加者は英語だけではなく、表情やジェスチャーなどを使って、どうやったら自分の思いが相手に伝わるのか試行錯誤しながら取り組みます。その他にも、カヌー体験や外国のお菓子やご飯をみんなで食べる等、様々なアクティビティが用意されており、参加者にとっては普段学んでいる英語の成果を試すことができる場でもあります。残す3回は、8月と9月に予定しています。活動の詳細については、来月の生涯学習だよりでお知らせします。



全員で夜ご飯を作ります



休憩時間もゲームをしながら交流

フットボールドリームカップ 2023 開催！

浜厚真野原公園サッカー場から世界への夢を追いかけて！

8月3日（木）～5日（土）に、浜厚真野原公園サッカー場にて12歳以下の子どもたちが参加する国際サッカー大会（大会委員長 元サッカー日本代表 巻 誠一郎さん）が開催されました。本大会では中国や韓国の海外から2チーム、本州各地から9チーム、道内から21チームの合計32チームが出場しました。会場には、チーム関係者や保護者、観戦者も含めて、延べ人数で過去最多の5,000人が集いました。

全32チームが揃って行われた開会式では、厚真町を代表して遠藤教育長が選手たちへ歓迎と激励の挨拶を述べました。

厚真町からは3名のサッカー少年が出場しました。チームは残念ながら予選リーグで敗退しましたが、普段味わうことができない全国のレベルを体感することができました。また、交流イベントではプロのサッカー選手とミニサッカーゲームで対戦し貴重な交流もできました。

浜厚真野原公園サッカー場では、今後もこのような大会誘致も企画しており、浜厚真野原公園サッカー場から世界へ羽ばたく「フットボールドリーム」が見られるかもしれません。



開会式での遠藤教育長のあいさつ



巻 誠一郎 大会委員長への選手宣誓



果敢に攻める永澤選手(厚真中央小6年)

厚真高校陸上部

～インターハイで大健闘を果たしました～

厚真高校陸上部に所属している2年生の中島愛梨さん、兼本光埜さんの2人が6月に札幌市で行われた、北海道予選会に出場しました。中島さんは自己新記録で、兼本さんは円盤投1位通過で見事突破し、8月2日（水）～6日（日）に開催された「令和5年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会兼秩父宮賜杯第76回全国高等学校陸上競技対抗選手権大会」（北海道インターハイ）に出場しました。北海道インターハイではそれぞれの種目で惜しくも入賞することはできませんでしたが両選手ともに大健闘を果たしました。

厚真高校陸上部は、今回出場した選手を含めた4人で活動しており、今後も陸上部の活躍に期待が高まります。

スピードスケート広域合同合宿 -厚真町で初開催！-

7月15日（土）～17日（月）に町民スケートリンクで行われた苫小牧、千歳、門別、厚真地区合同合宿に厚真 SPEED（スポーツ少年団）所属の4名を含む計48名が参加しました。合宿では、夏季期間限定のローラースケートの練習や、クロスカントリーマラソンなどのトレーニングを行いました。スポーツ振興支援員の^{きやま} 歸山雄太さんは、「4地区の合同合宿は初めての試みで、普段、一緒に練習する機会がない選手たちは、緊張感を持ちながらも意欲的で積極的な練習を行っていた」と話していました。

練習後に開かれたこぶしの湯あつま前のバーベキューハウスでの交流会では、合宿に参加した選手や指導者から「来年も厚真町で行いたい」との声が聞かれていました。今回の合同合宿は選手たちにとって、充実した夏の思い出になったのではないのでしょうか。



ローラースケートの練習

厚真町文化祭開催案内

今年度も右記のとおり、厚真町文化祭を開催します。なお、案内チラシについては、10月に全戸配布予定ですので、たくさんの方のご来場をお待ちしています。

【申込み・問合せ】

厚真町文化祭実行委員会事務局
(厚真町教育委員会内) ☎27-2495

- 日時：11月3日(金・祝) 9:00～17:00
11月4日(土) 9:00～12:00
- 場所：厚真町総合福祉センター、厚南会館
- 内容：展示・芸能発表展示

※芸能発表会は、下記のとおり実施予定です。
・3日(金・祝) 18:00～(厚南会館)
・4日(土) 17:00～(厚真町総合福祉センター)

《展示、芸能発表での一般参加も大募集です》
「皆さんの自慢の一品」「日ごろの取組の成果を発表したい」という方、ぜひ、事務局までお問い合わせください。(9月1日締め切り)

「厚真支部二十周年記念発表会」～詩吟・吟舞同好会～

厚真町文化協会に所属し、聖月流日本詩剣詩舞道会厚真支部として活動している、「詩吟・吟舞同好会」では、厚真支部20周年を記念して「厚真支部二十周年記念発表会」を下記のとおり開催します。

記念発表会では、これまでの20年間の振り返りも行います。入場は無料となっていますので、ぜひご覧ください。

- 日時：9月10日(日) 開演 11:00
- 場所：厚真町総合福祉センター
- 主催：聖月流日本詩剣詩舞道会厚真支部
- 後援：聖月流日本詩剣詩舞道会本部、厚真町教育委員会



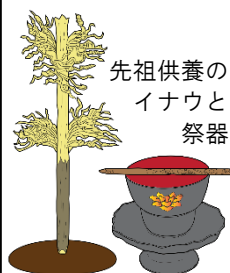
アイヌ民族伝統文化・儀式 主催：厚真アイヌ協会 協力：厚真町教育委員会 イナウ製作体験とカムイノミ・イチャルパのご案内

全国から注目されている厚真町のアイヌ民族出土文化財により、町教委では町内外の皆様へアイヌ民族の伝統文化、歴史に関する事業等を行っています。厚真アイヌ協会主催のイナウ(アイヌ民族の木幣・御神体)を作る体験事業とカムイへの感謝の儀式「カムイノミ」、先祖供養の「イチャルパ」のほか、イオマンテ・リムセ(輪踊り)やク・リムセ(弓の舞い)などの古式舞踊も披露されます。

また、軽舞事務所特別収蔵庫保管の厚幌ダム遺跡群出土のアイヌ民族の宝物特別公開も行います。普段見ることができない、アイヌ民族の伝統儀式や古式舞踊などに触れてみませんか。お待ちしております。

イナウ製作体験

- ・9月30日(土) 15:00～17:00
 - ・軽舞遺跡調査整理事務所(旧軽舞小学校)
 - ・参加費：無料
 - ・定員：先着20名
 - ・申込期間：9月1日(金)～27日(水)
 - ・申込先：軽舞遺跡調査整理事務所
・☎28-2733
・Shakai@town.atsuma.lg.jp
- 電話もしくはメールで申し込み下さい。



カムイノミほかと宝物特別見学会

- ・10月1日(日) 10:00～13:00
- ・予定 10:00～：伝統儀式
- ・予定 11:30～：古式舞踊
- ・予定 12:00～：出土品宝物見学会
- ・軽舞遺跡調査整理事務所(旧軽舞小学校)
- ・参加費：無料 ・定員：なし
- ・申込：不要
- ・問合せ：軽舞遺跡調査整理事務所
☎28-2733

長期休業中の学習会「アツマナビ」を開催しました -教え合い、学び合う-

教育委員会では、長期休業中に異学年や地域の方々と一緒に教え合ったり、学び合ったりする活動を通して、生活習慣や学習習慣の形成の一助とすることを目的に、8月1日(火)、2日(水)に厚南地区で、3日(木)、4日(金)には、中央地区で長期休業中の学習会「アツマナビ」を開催し、延べ132人の児童生徒が参加しました。

今回も午前と午後の2回に分けて、宿題や自学自習などをメインに学習会を実施しました。午前の部では、紙飛行機の折り方を学び、飛距離を競ったり、ボードゲームで交流を図ったり等、普段とは少し異なる特別授業も行いました。今回のアツマナビでは、参加者それぞれが目標をもって、一生懸命に取り組んでいる姿や異学年と交流する姿がとても印象的でした。

アツマナビは毎年、外国人スタッフや地域の方々の協力を得て開催しています。今年度の冬季休業中も実施予定ですので、ぜひご参加ください。



7月定例教育委員会

7月27日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

中央地区学校運営協議会第1回会議について
／厚南地区学校運営協議会第1回会議について
／議会議員町内行政視察について
／7月の校長会議・教頭会議について
／復興・森林再生記念植樹会について
／生徒指導に関わる報告
／令和4年度新体力テストの結果について
／生徒のA1の取扱いについて
／厚真町青少年健全育成委員会
／デジタルリテラシー向上事業
／第2回ディスカバリーカルチャー「地域で支える認知症」
／令和5年度「少年の主張」胆振地区大会
／まが玉づくり体験
／他4件

◆議案

外国青年英語指導助手任用規則の一部改正について

★問合せ

教育委員会学校教育グループ ☎27-2494

世界の昆虫展

7月27日(木)～8月20日(日)開催

青少年センターでは、7月27日(木)から8月20日(日)まで「世界の昆虫展」が開催され、町内外から約300人の来場がありました。

展示期間中には、ヘラクレスオオカブトムシの迫力や、アゲハの仲間であるミロタイマイのきれいな模様などに訪れた子どもたちが夢中になって観察する姿を見ることが出来ました。

世界の昆虫展は、毎年、夏休み期間中に合わせて開催しています。ぜひ、来年も貴重な昆虫たちの姿を見に来てください。



図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

TEL 27-2321 (土日)

災害への備えを確認しよう

「点検！自宅の防災グッズ」展

毎年9月に、厚真町公民館図書室では災害に関する書籍や防災グッズや備蓄品などの展示を行っています。

今年も、地震や防災に関する書籍と、手軽に作ることができる防災グッズの情報などの展示をします。今年一度、この機会にご自宅の備蓄品の点検と、厚真町防災ハザードマップの確認をしてみてください。

展示期間：8月29日～9月11日

展示場所：青少年センター1階入口
図書室カウンター横

今月のおすすめ本

一般書「これで死ぬ」羽根田治著

本当に起こった事故を元に、登山や野外活動を行う際の注意点を再確認する、という本です。北海道の事例も多く取り上げられています。悪天候が予想される時は、自身の身をまもるために山に登るのをやめましょう。

児童書「勉強の面白さってなんだろう」

高濱 正伸著

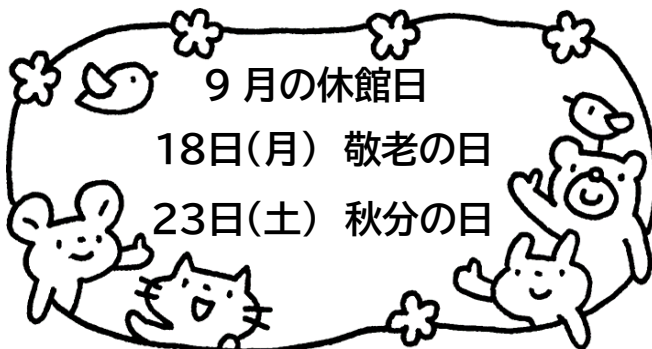
「なぜ勉強しなくてはいけないのか、好きなことだけやっていればそれでよくない？」と思う小学校高学年から中学生に読んでほしい1冊。イラストも交えて書かれているので、200ページ近くある本ですが読みやすい1冊となっています。

守ろう！図書室マナー

- ★返却期限を守りましょう。あなたの借りている本を待っている人がいます。
- ★図書利用カードの貸し借りはやめましょう。たとえ家族同士であっても、本の紛失の原因になります。
- ★本への書き込み、雑誌の切り抜きはやめてください。本や雑誌の価値がなくなってしまいます。

9月は北海道立図書館交換月です

読み終わった本は、
お早めにお返しください。



■青少年センター図書室開館時間

9時00分～17時00分(月・水・金・土・日)

9時00分～19時00分(火・木)

※祝日、年末年始は休館となります。

■厚南会館図書室

9時00分～17時00分(月～日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は
休館となります。

9月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは、
28日(木) 10時00分から10時30分まで
場所：青少年センター絵本コーナー です

☆ 放課後子ども教室活動報告 ☆

外に出ると、モワッとした空気が肌にまとわりつき、少し動くだけで流れる汗。夏らしい暑さとともに始まった今年の夏休みでした。プールやキャンプなどのレジャーも、思う存分楽しんだことでしょう。放課後子ども教室では、この夏休み期間を利用して、特別教室『あつまっ子商店街 2023』を実施しました。昨年に引き続き、厚真神社の境内で開催される「鎮守の杜マルシェ」にて、子どもたちが出店させてもらうプログラムを企画し、6月から準備を始め、本番までの計4回の活動を行いました。今年の活動のテーマは、「自分の中にある好きなモノ・コトを活かしたお店づくり」です。まずは、自分が好きなモノ・コトをたくさん書き出すワークショップを行い、そこから自分がつくるお店でどのような商品やサービスを扱うかを決めていきます。

絵を描くことが好き。ゲームが好き。お菓子をつくるのが好き。魚や石が好き。自分が好きなモノを語るとき、人はとてもイキイキして見えます。また、いかに自分がその物事について、熱い思いを持っているか、質問を受けつつ話をしていくと、新たな気づきも生まれました。こうして語った中から、自分のお店づくりの根幹となる商品やサービスを決めていくのですが、具体的に考えるたび、本当にその商品が売れるのだろうか、そのサービスで満足感を得てもらえるだろうか、と壁にぶつかり、もう一度スタート地点に戻るといような作業をたくさん繰り返しました。アイデアをカタチにするということは、そう簡単なことではありません。お客さんの目線に立つことも大事です。時間にも限りがあります。様々な制限がある中、子どもたちはしっかりと自分の心と向き合いました。

最終的には、既製品のお菓子を組み合わせ、ミニパフェを販売するお店、グミの味をあてるゲームとコーラの早飲みアトラクションを行うお店、竹細工を売るお店、流木や石でつくった雑貨を販売するお店、手づくりヘアアクセサリを売るお店、お茶と自作のキャラクターとメッセージを書き加えたしおりを添えて販売するお店が並びました。会場設営から店舗の看板やPOPの作成・設置はもちろん、接客・販売から、仕入れにかかった経費や価格設定、売り上げの確認も、スタッフの力を借りつつ、子どもたち自身で行います。うまくいくことばかりではありませんでしたが、友だちや家族、地域の方々のご協力で、目標の数量を売り切ることが出来ました。子どもたちの表情からは、目標を達成した嬉しさと安堵、そして、改善点を反省する様子が見え、なかなか難しいチャレンジではありましたが、子どもたちの未来につながる学びになってくれることを願います。

鎮守の杜マルシェ実行委員会の皆さんをはじめ、出店者の皆さん、ご来場いただいた皆さん。プログラムの運営に手を貸していただいた厚真町商工会青年部、厚真高校公営塾・よりみち学舎、林業家の永山さん。みなさまのご理解とご協力に改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

